

ふる里の丘広報誌「四季つれづれ」
令和五年：秋号



秋の大沼：駒ヶ岳

デイサービスセンターふる里の丘

〒049-5613

虻田郡洞爺湖町清水21-98

TEL 0142-76-1300

FAX 0143-76-1302

<http://www.koseikai-wel.or.jp>

発行責任者 デイサービスセンターふる里の丘：所長 工藤一憲



秋のお楽しみ

〔ドーナッツ・焼き芋・バスレク(壮瞥道の駅)〕

9月・10月は恒例のお誕生会のカラオケや

焼き芋・ドーナッツ週間、3年振りのバスレク

そんな中、振り込め詐欺被害防止の講話も行っています。



デイサービスセンターふる里の丘 今後の予定

12月1日～

12月生まれの方のお誕生会週間

12月22日～

クリスマス&越年会

※ 変更が生じた場合には前週にお知らせします。



防ごう！ インフルエンザ感染！

●インフルエンザの感染経路は、飛沫（ひまつ）感染と接触感染です。

【飛沫感染】○感染した人の咳やくしゃみのしぶき（飛沫）に含まれるウイルスを吸い込むことによる感染です。

○予防には、咳やくしゃみが直接人にかからないよう、マスクやティッシュ等で口と鼻を覆う等の「咳エチケット」が効果的です。

【接触感染】○ウイルスの付着した手で、目・口・鼻を触ることによる感染です。

○予防には、手洗い、消毒が効果的です。

インフルエンザの感染経路



●こまめな手洗いを心がけましょう

○手洗いは流水と石けんで15秒以上行い、水分を十分にふき取りましょう。

○手が洗えない場合、手指消毒用アルコール製剤（エタノール等を60～80%程度含むもの）による消毒も効果があります。

●顔を触らないようにしましょう

○手に付着したウイルスが目・口・鼻の粘膜から体内に入らないよう、手で顔を触らないようにしましょう。

●人ごみを避けましょう

○外出する場合は、公共交通機関のラッシュの時間を避ける等人ごみに近づくことは避けましょう。

○症状のある人（咳やくしゃみなど）に接触した場合は、手洗い等を行いましょう。



冬の住宅火災に備えましょう！

1. 住宅火災の実態

住宅火災で亡くなられた方の約半数が「逃げ遅れ」です。又、一度屋外に出たら、引き返さないようにしましょう。

2. 発見・通報・避難 火災をまわりの人に早く知らせましょう。

同居する人、大声で近所の方に知らせる。又、消防への通報「119」を。が慌てて繋がらない事もあります。焦らずゆっくりと掛けましょう。

3. 出火原因ごとに注意していきましょう。

「たばこ」 吸う場所を決める、吸い殻を始末する時は一度水に浸ける。

「石油・電気ストーブ」 点けたまま寝ない・近くに洗濯物を干さない
点けたまま給油しない。ホコリは小まめに掃除

「仏壇・ろうそく・線香」 ろうそくや線香は安全な電池式に切り替える。

「漏電火災」 ブレーカーに負荷が掛からない使用を。

「台所火災」 たこ足配線やコンセントにホコリが溜めない。

コンロの火を使う時は、その場を離れない。

離れる場合には一旦火を消す事。

油：揚げ物からの出火に水を掛けると熱い油が周囲に飛び散り危険です。

※ これから北海道は長い冬に突入します。

住宅などの財産だけでなく命をも奪う恐ろしい火災。住宅火災によって毎年約900人の方が亡くなっています。その半数が「逃げ遅れ」によるものです。

また、亡くなった方の約7割を65歳以上の高齢者が占めています。住宅火災の発生や逃げ遅れを防ぎ、大切ないのちを守るための行動を。



※ デイサービスでの消火訓練の様子